上高だより

平成２９年３月２５日
第１２号
北海道上士幌高等学校
北海道上士幌高等学校振興会

希望を胸に　巣立ちの時

～ 第５４回卒業証書授与式挙行 ～



３月１日、第５４回卒業証書授与式が挙行され、山﨑恒平校長から５８名の卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡され、社会へと巣立っていきました。担任から呼名され、壇上に上がって卒業証書を授与される際、山﨑校長から声をかけられ、卒業生達は３年間の高校生活に思いをはせていました。





山﨑校長の式辞、竹中貢上士幌町長と長瀬智勝ＰＴＡ会長の祝辞の後、９名の生徒に皆勤賞が、１０名の生徒に精勤賞が授与されました。

送辞では、在校生代表の２年生小椋萌加現生徒会長から「仲間と支え合い、何事にも一生懸命取り組む姿は頼もしく輝いて見え、心揺さぶられました。伝統を守りより良い上士幌高校を築いていきます。」と卒業生へ向けての感謝の気持ちと、３年生の意志を受け継ぎ上士幌高校をますます発展させていきます、という心強い誓いの言葉が読まれました。それを受けて、答辞では、卒業生代表の酒井直輝





前生徒会長が、「地域の方々、先生、仲間達に感謝したい。そして何より１８年間支えてくれた親に感謝します。何年たっても色あせない思い出と、上士幌高校で身につけた力を糧に胸をはって新天地に歩み出せます。そして、上士幌高校を在校生の皆さんに託します。」と、時折涙ぐみながら語りました。







最後に、厳粛な雰囲気の中、式歌「蛍の光」を斉唱し、会場は大きな感動に包まれ、卒業生の退場をもってすべてが終了しました。



卒業生にも保護者の方にも思い出に残る、とても良い卒業証書授与式になりました。卒業生達の今後の活躍を期待しています。

そして、新たな希望

～ 合格発表 ～



３月１７日、高校入試の合格発表が行われました。午前１０時、生徒玄関前に合格者の受検番号が張り出されると、集まった受検生から歓声が上がりました。辛かった受検勉強からも開放されて、喜びと安堵の気持ちでいっぱいになったことと思います。ぜひ、この気持ちを忘れずに、入学後、様々なことに頑張ってください。

